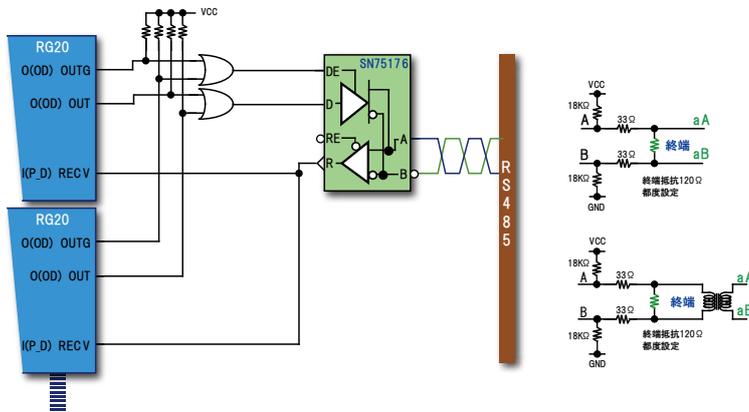


設計にあたって

推奨のネットワーク



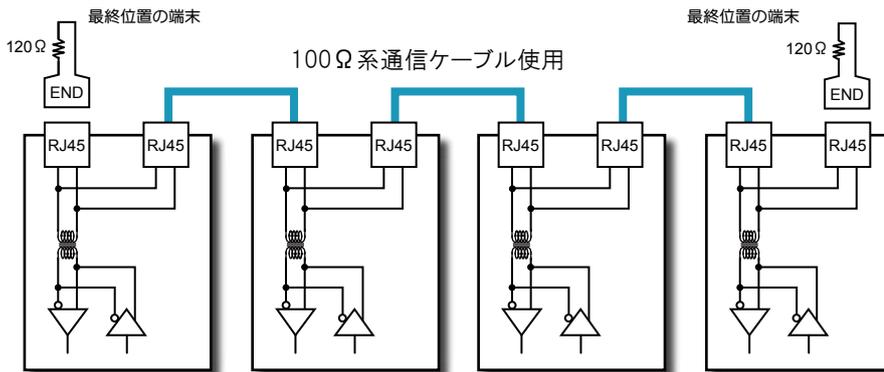
RJ45 ピン配置

形状はイーサネット（通常の LAN）で使用されているものと同一ですが、電気的特性が異なりますので、通常のネットワーク機器に接続しないでください。

PIN	1	2	3	4	5	6	7	8
Use	12V	12V	A	N/C	N/C	B	GND	GND

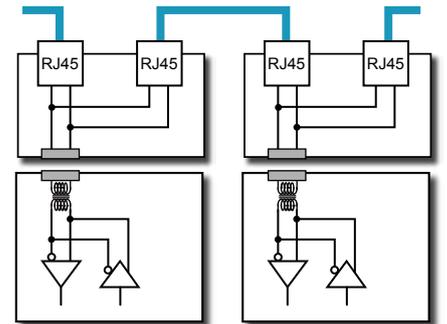
マルチドロップ接続

マルチドロップ接続の両端に終端抵抗を接続してください。
中間位置に存在するモジュールへは、終端抵抗を接続しないでください。
回路基板上の配線は極力短くし、信号同士の交差は避けてください。



活線挿抜への対応

サブ基板方式で活線挿抜に対応可能です。



スタブ（引き出し線）接続の禁止

RiB ネットワークにおいて通信ケーブルを利用する場合、スタブ（引き出し線）による分岐接続は行わないでください。
（スタブ分岐点においてインピーダンス不整合が発生するため）

通信ケーブルの選択

RiB ネットワークにおいては、通信ケーブルをご利用いただくことが基本です。
加工性、敷設の容易さ、シールドの有無、難燃性、強度などを考慮のうえ、システムに適合する通信ケーブルを選択してください。
例 LAN カテゴリ 5 仕様準拠ケーブル、CPEVS0.9 相当ケーブル、計装ケーブル 等

パルストランスの使用

RiB ネットワークにおいては、電流成分との絶縁、ノイズに対するガード能力向上等の理由により、パルストランスの使用を推奨しています。

トランシーバーの使用

RiB ネットワークにおいては、トランシーバーとして、SN75LBC176AD、SN76LBC176AD の使用を推奨しています。
トランシーバーの詳細技術説明は、各技術マニュアルを参照してください。